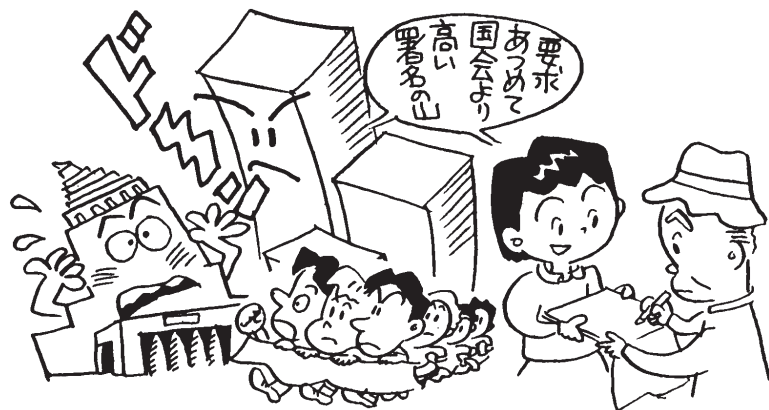


# 明日を決めるのは私たち 署名で、選挙で、意思を示そう



## 沖縄で再び痛ましい事件 基地は撤去しかない

5月、沖縄で元海兵隊員による痛ましい事件が起きました。これ以上、尊い命が奪われないためには基地を全面閉鎖・撤去するしかありません。沖縄と全国が連帯した辺野古の新基地建設反対のたたかいは、工事中断に追い込みました。6月の沖縄県議会選挙でも「基地NO」の揺るがない民意が再び示されました。「オール沖縄」のたたかいが安倍政権を追い込み、思惑どおりには「戦争する国づくり」を進ませています。



## 危険な自民党改憲草案

追い込まれた安倍首相は、「アベノミクス選挙」だと争点隠しに躍起ですが、参議院選挙で自民党が多数を取れば、戦争法を発動し、明文改憲に踏み込むつもりです。自民党の改憲案は、9条2項を削除して「国防軍」を明記し、日本を「戦争する国」に変えるものです。基本的人権を「公益」の名のもとに制限し、「緊急事態条項」という事実上の戒厳令の導入を狙っています。こんな憲法改悪を許してはなりません。

## 戦争法の発動を許すのか、廃止か

戦争法成立以降、自衛隊と米軍との一体化が強まっています。さらに11月から南スーダンのPKOに自衛隊を派遣し、「駆けつけ警護」など武器使用の緩和を含む新たな任務を検討していることも明らかになりました。自衛隊員をはじめ国民が殺し、殺される戦争に巻き込まれる恐れを現実のものにしてはなりません。

憲法共同センターでは戦争法廃止署名が1000万人分を超えました。署名に託された声が政治を動かしています。参議院選挙で安倍政権に審判を下しましょう。